

草の根無償「サンティアゴ・ヌアルコ市サンタ・クルス・ロマ村飲料水供給計画」案件終了式

2021年11月19日、ラ・パス県において「サンティアゴ・ヌアルコ市サンタ・クルス・ロマ村飲料水供給計画」の案件終了式を実施しました。同終了式には、サントス・サンティアゴ・ヌアルコ市役所代表、ロペス・サンタ・クルス・ロマ村村長、地域住民及び当館館員等が出席し、記念碑除幕や記念植樹等を行いました。

本計画の実施場所であるラ・パス県サンティアゴ・ヌアルコ市サンタ・クルス・ロマ村は、首都より東へ約57km(車で約1時間)に位置し、未舗装道が続くアクセスの悪い地区です。同村では、1973年に隣市のサン・ペドロ・ヌアルコ市が設置した上水道設備が使用されていましたが、上水道設置以降住民が増え続けたため、同村に対する上水道給水量が年々少なくなりました。案件実施前には4~5日に一度約40分間のみしか給水されず、また給水日であっても住民は各家庭の貯水槽に20L程度しか貯水できませんでした。そのため、多くの住民は村の中心部から徒歩で30分ほどの距離にある川から水を汲んだり、洗濯や沐浴に行ったりしていました。そうした仕事の多くは、子どもや女性が担っており、地域住民にとって大きな負担となっていました。

このたびの上水道整備で、貯水タンクの建設、給水ポンプ及び給配水管の設置等を行い、各家庭に安心できる水の供給を実施することができました。プロジェクト総額は320,651.78米ドルで、その内日本政府は149,700米ドル、サンティアゴ・ヌアルコ市役所は150,989.78米ドル、地域住民は19,962.00米ドルを拠出しました。

本計画実施により新たに上水道設備が整備され水供給が安定することで、214世帯、1,070人の生活環境及び公衆衛生が改善されました。



案件終了式



記念植樹



記念碑除幕



計画看板



開栓式

<裨益者からの声>



日本と市役所、そして私たち地域住民が協力しあい、プロジェクトを完了させるという大きな目標を達成できたことを、被供与団体の会長として、とても誇りに思います。20年以上にわたり、私たちは水不足に苦しんでいました。このプロジェクトに心から感謝します。
 サンタ・クルス・ロマ村村落開発協会会長 ダビッド・ロペス氏

私たちの地域は、幼少のころから水不足の問題に悩まされてきました。日本の皆さん、市役所の皆さんのおかげで、多大なる恩恵を受けることができました。裨益者 イリス・グランデ氏



日本、市役所の皆様、大変ありがとうございます。以前は毎日水汲みをしていましたが、今は快適に水を使用することができるようになりました。裨益者 ヘデオン・バスケス氏